

1・園の教育目標

1. 滝川幼稚園は、仏教精神(素直・仲良く・おもいやり)による保育を実践し、一人ひとりが健康で、友達と明るく仲良く生活でき 感性豊かな子どもに 育つことを目標としています。
2. 広々とした園庭で のびのびと遊び自然との関わりを大切にし 健康な身体と 豊かな感性をやしないます。
3. 自由保育を中心とし、年齢にふさわしい個々の育ちを大切に それぞれが自立する力を 育て生きる尊さを知らせます。

2・本年度に 定めた重点的に取り組む目標や計画

- ・創り出そう！こどもの未来を拓く、良質な乳幼児期の教育を届けよう！こどもと共に生きるよろこびを～
- ・子どもや同僚と共に育つ保育者をめざす。(保育者自らの経験を基に多方面での学びを積み上げていく事で子どもの遊びや生活を深め充実させていく)

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組み状況
幼稚園教育要領をふまえ	園の教育理念が日々の保育の中に 反映されるように計画をたて
園の教育理念・教育方針に従い	実践出来るように努力して取り組んでいる。
保育計画をしている。	教育要領をさらに深める事が、できる様に補助教材を用いて活用しているが、個人差があるので意識を高めていきたい。
教育要領・教育課程、子どもの実態などを もとに考えて作成している。	毎年の指導計画の見直し、学期ごとの反省を次に活かすことが出来るよう努めている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	日々の反省、学年チーフ会議、職員会議などで クラスの様子、保育の反省をし全職員が、子ども達の共通理解が出来るようにし 課題が生じれば、話し合い状況の改善に努める。
子ども達が、遊びを通して様々な事柄を体験し楽しめる広がりを持った保育が出来るようにしている。	子ども達が興味を持った遊びを発展し、年齢にふさわしい体験をできるように努めている。子ども達の見取りをしっかりと行い その状況に似あった保育を進めていく様にする。
規則正しい生活習慣の定着に向けて指導を行う。	基本的な生活習慣は、日々の保育の中で衣服の着脱・うがい手洗い排泄は、もちろんの事、メリハリのある保育に心がけ、話を聞く時は、しっかりと きける様けじめを持った生活に気を付けている。 手洗い・うがい等徹底していたので 感染症の流行で休園になる事も無かった。
園内研修をする。	フレーベル館処遇改善Ⅱ適応のオンラインで 園内研修を行った。 日々の反省の中で 研修となる事もある。
各研究会・研修会に積極的に参加し職員間で学び合う。	リモート研修・対面での研修などできる限り参加できる研修には、参加した。(全幼研・北私幼等)
園だよりや 合同研修会を通して幼稚園の情報を発信していく。	園の方針や取組みは、園だよりやHP,FMで情報を発信している。

#### 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員間の風通しを良くしていき互いの保育について語り合えるような雰囲気づくりを心がけたい。  
また、保育の質を高めながら不適切な保育などにも教師が注意し合って子どもがより良い保育を受ける事が出来るようにしていきたい。  
また、日々の教員の働き方にも工夫を凝らし万全な体制で子供たちを迎い入れ和やかに保育に携わりたい。  
支援の必要な園児に対しては、園全体で取り組むことが、できていたと思う。

#### 5. 今後取り組むべき課題

特別支援教育	インクルーシブをもとに支援の必要な園児の理解を測るとともに健常児との関わり合いや支援の必要な園児が、自己充実感を味わう保育の在り方を考える。 関係機関との連携をとりながら、協力体制をとっていく。
幼保小連携	教育委員会主催の幼小保連携研修会の会場となり公開保育を行う。 第三小学校の児童との交流 第三小学校訪問 就学前に園児の園での様子を見に来ていただく。
保育指導計画の立て方	長期スパンでの計画を立て見通しを持って早めに計画実践を行うよう心掛けている。 子ども達の遊びの様子をみながら遊びが発展できるよう計画を立てる。
保育者の資質向上	日々の反省を通し、また、現状を良しとしないでさらに向上が出来る様に意識して保育をしていく、研修で学んだ事を実践していく。

#### 6. 学校関係者の評価

日々の保育においては、子ども一人ひとりの思いやりや成長に寄り添い、子ども想いで丁寧な関わりがなされており子どもたちが安心して楽しく生活を送っている様子がうかがえます。また、保護者への情報発信についても幼稚園だよりや連絡手段を通じて分かりやすく行われており、幼稚園の様子が、よく伝わってきます。

さらに職員間の連絡、各行事には担当の先生を設けている事で保護者役員とのスムーズな話し合いができる体制も整っております。

幼稚園全体で子ども達の成長を支えようとする温かな雰囲気が子ども達の笑顔や挨拶に繋がっていると感じられます。

今後も子ども達の健やかな成長を支える幼稚園としてさらなる充実が期待されます。

令和7年度 後援会会長 須田悠斗

#### 7. 財務状況

公認会計士監査より適正に運営されていると考える。